令和7年度 社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会 事業計画

1. 使命

富士宮市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を使命とします。

2. 経営理念

富士宮市社会福祉協議会は、以下の経営理念に基づき事業を展開します。

- ① 住民参加・協働による福祉社会の実現
- ② 地域における利用者本位の福祉サービスの実現
- ③ 地域に根ざした総合的な支援体制の実現
- ④ 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦

3. 組織運営方針

富士宮市社会福祉協議会は「社会福祉を目的とする事業を経営する者」と「社会福祉に関する活動を行う者」が参加する公益性の高い非営利・民間の福祉団体として、その使命と経営理念を実現するために、以下により組織運営を行います。

- ① 地域に開かれた組織として、運営の透明性と中立性、公正さの確保を図るとともに、情報公開や説明責任を果たします。
- ② 事業の展開にあたって、住民参加を徹底します。
- ③ 事業の効果測定やコスト把握などの事業評価を適切に行い、効果的で効率的な自立した経営を行います。

4. 経営方針

社会福祉協議会の使命、経営理念、組織運営方針を実現するため、経営方針を以下に定めます。

- ① 事業面では適正に事業を評価・精査するとともに、社協としての使命や目的を最大限に考慮しつつ健全な事業運営を行います。
- ② 財政面では、自主財源の確保や、コストの削減、行政との十分な協力体制の構築に努め、効率的な事業推進を図ります。

I 基本方針

少子高齢化、人口減少、気候変動、頻発する災害、物価の高騰など私達を取り巻く環境は不安定で、生活困窮状態に陥る人、社会的孤立を深める人が増加し、地域社会でつながり続けることが難しい状況になっています。

富士宮市社会福祉協議会では、令和6年度の重点事業において、重層的支援体制整備事業に基づき、社会的に孤立している人とつながり、地域づくりを進める取り組みを始めました。この中で、生活困窮者や障がい児者相談などの相談機関間だけでなく、介護保険事業、障害福祉サービス、子育て支援センター等の事業のほか、地区社会福祉協議会活動など地域づくり関連事業との連携も進めてまいりました。

また、富士宮市社会福祉協議会の運営強化のため、中期経営（財政）計画の策定に着手し、人材の確保・育成や組織体制、経営基盤強化のための取り組みを進めてまいりました。

令和7年度におきましても、本会では昨年度の取り組みをさらに推進するとともに、利用者の利便性の向上、地域や関係機関との連携強化を図ってまいります。その取り組みの一つとして、生活あんしん係（生活困窮者自立支援事業・貸付事業・権利擁護事業）の開業日を変更いたします。

また、さらなる地域での連携強化による地域福祉の推進を目指し、社会福祉法人間連携の取り組みの検討を始めます。これらの取り組みを通して、地域福祉推進の中核機関としての役割を果たすべく組織運営体制を強化し、地域の皆様や多様な機関とともに「地域共生社会」を目指してまいります。

令和7年度重点推進事項

1 第5期地域福祉活動計画の策定

令和7年度は、第4期地域福祉活動計画の最終年となることから、この第4期計画の評価を実施するとともに、富士宮市社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会の第5期地域福祉活動計画の策定を進め、つながる地域づくりを進めます。

2 第1期中期経営（財政）計画に基づいた組織体制の基盤強化

第1期中期経営（財政）計画に基づき、財政基盤や人員体制を強化し、安定した法人運営に努めます。

※ () 内は主な収入です。全収入の内訳ではありません。

II 本部拠点事業

1. 法人運営事業(市補助金：26,829千円)

事業概要	財務や労務の管理ならびに、事務、事業の効率化と適正化を図ります。また、コストの把握と、適切な事業評価により、安定的な財務運営を目指します。
重点目標	中期経営計画を基本に雇用確保と安定した経営を進めます。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●経営基盤強化 <ul style="list-style-type: none"> ・社協会員加入の増強（自主財源の確保） ・中期経営計画を基本に雇用確保と安定した経営を進めます。 ●人材育成への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得の促進（社会福祉士、衛生管理者、危険物取扱者等） ・階層別研修、テーマ別研修への参加や内部研修の企画実施 ●組織体制の強化・理事会、評議員会（次期役員への移行と理解促進に努めます。） <ul style="list-style-type: none"> 理事会：令和7年5/21、6/5、9/17、令和8年2/4、3/11 評議員会：令和7年6/5、9/25、令和8年2/12、3/19 ・監事監査（会計と業務の執行状況について監査していただきます。） ・働きやすい職場環境作りに努めます。 ●行政とのパートナーシップの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・行政と連携を図り、地域福祉施策の充実と公的財源の確保に努めます。

2. 企画広報事業(会費：609千円)

事業概要	富士宮市社会福祉協議会の諸事業についての理解促進と、日赤・社協合同大会や静岡県健康福祉大会への参加を通じ、更なる協力をいただけるよう努めます。
重点目標	広報紙「明るいまち」の発行再開
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●社協広報紙「明るいまち」の発行（年4回 5月・8月・11月・2月） <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく、魅力的な広報紙をつくります。 ・読者がどのような情報を知りたいのかについて調査を行います。 ・より多くの方に広報紙を届けるための方策を検討します。 ●ホームページの管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・有効で適正な管理、運営を行います。 ・ホームページをはじめ、SNS、広報紙等の媒体を活用し、幅広い年代の方への情報発信を行います。 ●日赤・社協合同大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・日赤と社協の事業への理解と協力を呼びかけます。（対象：区長・町内会長） 令和7年6月28日（土）9:30～ 安藤記念ホール ●表彰状・感謝状の贈呈 <ul style="list-style-type: none"> ・表彰規程に基づき、社会福祉功労者や協力者への表彰状・感謝状の贈呈を行います。また、静岡県社会福祉協議会会長表彰をはじめ知事表彰、厚生労働大臣表彰等の推薦を行い、福祉の増進に努めます。

	<ul style="list-style-type: none"> ●声の明るいまちの発行 ・音声版「社協広報紙 明るいまち」を発行します。
--	---

3. 地域福祉推進事業 (補助金:14,250千円、会費 8,964千円)

事業概要	<p>誰もが参加できる地域の将来を見据えた地域づくりのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士宮市地域福祉推進計画に基づき、地域住民と連携して地域福祉推進に努めます。 ・地域同士で情報共有を行い、より発展した地域福祉活動となるよう支援します。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①計画最終年度により課題の整理と評価を行い次期計画に繋がります。 ②地域福祉活動に役立つ講演会の実施 ③第5次地域福祉活動計画策定を行います。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ①地区社協ごとに上半期・下半期会議を行い、計画の進捗確認を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・11月と3月に地域福祉活動計画策定・推進委員会を開催し、委員への理解促進に努めます。 ②年2回開催の地区社協連絡会に講演会を取り入れ、活動の充実に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを基に内容を精査します。 ③住民懇談会を行い、無理なく取り組める5か年計画の策定に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・現計画内容を精査し、各地区社協で行っている事業について、開催目的や視点を再度確認し計画に積上げます。

4. 地区社協活動事業 (市補助金:5,153千円)

事業概要	<p>住民同士が地域課題や困りごとを自分たち自身の問題と受け止め、関係機関や専門機関等と連携・協働しながら「誰もが安心して共に暮らせる福祉のまちづくり」を目指す住民主体の活動組織団体（地区社協：市内14か所）の活動に対し補助金を交付し、地区社協活動の啓発と参加・協力の推進を図ります。</p>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①地域福祉活動計画に沿った地区社協事業の推進 ②地区社協連絡会の充実 ③地区社協補助金交付要綱の整備
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ①地域福祉活動計画と地区社協事業が連動されるよう協力し推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・4月～6月 各地区社協総会出席し事業計画・予算の確認 ②地区社協連絡会を年2回開催し、視点の醸成をはかります。 <ul style="list-style-type: none"> ・8月 第1回地区社協連絡会開催 ・1月 第2回地区社協連絡会開催 ・各地区社協事業について助言・支援を行います。 ③プロジェクトチームを中心に検討し、総会や連絡会において進捗や今後の動きを共有します。(令和8年度から適用開始となるよう努めます。) <ul style="list-style-type: none"> ・毎月 他市町社協からの情報収集を基に、検討 ・令和7年4～6月 総会にて現況説明 ・令和7年8月 第1回地区社協連絡会にて、進捗報告 ・令和7年12月 新要綱完成 ・令和8年1月 第2回地区社協連絡会にて、確定要綱の説明

5. 生活支援体制整備事業（第2層協議体推進業務）（市受託:24,000千円）

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を支える地域の活動や不足しているニーズを共有し、活動者同士のつながり、見守り活動、居場所づくりなど、その地域ならではの支え合いの仕組みづくりのために地域の関係団体と話し合いを行います。 ・生活支援コーディネーターの育成として、地域福祉推進アドバイザーと情報共有し、適切な助言によるスキルアップに取り組んでいます。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①協議体と地区社協の役割の整理 ②委員の意見を反映した地域資源情報誌の発行 ③地域の活動者の育成
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ①委員委嘱の規程を整備します。また地域の実情に沿った多様な協議体の在り方を提示できるよう努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・11月 協議体の在り方について意見交換会 ②活用される情報誌発行に向け、早期の情報収集としブラッシュアップに努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・7月 委員長・副委員長会議：資源情報誌に関する意見交換会 ・10～11月 見積 ・12月 確認作業 ・1月 原稿確認 ・2月 原稿修正 ・3月 発行 ③明確化したニーズに対し、地域の活動者を育成します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズが把握できた地区から順に進めます。

6. 地域寄り合い処事業（市補助金:12,000千円）

事業概要	<p>住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、気軽に立ち寄れる居場所を住民主体で立ち上げ、介護予防、健康維持、生きがいつくり、不安や悩みの解消、孤立・孤独の防止等に取り組みます。また、支え合うことのできる関係づくりを構築していくための支援を行います。</p>
重点目標	適切な運営支援及び空白地域の開設支援
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●運営状況の把握及び課題を明確化し支援方法を検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ・4月～5月 調査票作成 ・6月～3月 聞き取り調査及び運営支援 ●SNS媒体を活用し担い手の確保に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・4月～5月 チラシ作成 ・6月～3月 周知（SNS掲載・関係機関への配布） ●スタッフ研修会の開催方法を検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ・6月～8月 第1回スタッフ研修会開催（全体） ・12月～2月 第2回スタッフ研修会開催（4ブロック） ●未設置地区に対しニーズ調査を実施しアプローチ方法を検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ・4月～6月 ニーズ調査実施 ・9月～3月 アプローチと開設支援

7. 地域子育てサロン事業（市補助金:2,200千円）

事業概要	身近な場所で、安心して子育てできる環境づくりに努め、孤立防止に向けた仲
------	-------------------------------------

	間づくりや関係機関と協働した育児支援を推進しています。また地域子育てサロンの周知や継続的な運営支援を行い、子育て応援の担い手を育成します。
重点目標	①適切な運営支援 ②子育て応援団育成とフォローアップ ③キラキラサロンの継続検討
主な計画	①定期訪問による情報の伝達や共有を徹底します。また既存の会議の見直しに努めます。 ・4月 富士宮市広報掲載 ・5月 第1回子育て支援連絡会・第1回アドバイザー連絡会開催 ・8月 市役所パネル展示会開催 ・1月 第1回子育て支援連絡会・第2回アドバイザー連絡会開催 ・市立保育園との情報交換会 ➡主催の明確化 ②SNSを通じ幅広い年代へ事業を周知し、担い手不足の解消に努めます。 ・11月 担い手養成講座開催 ③キラキラサロンの意義を明確にし、今後の運営について健康増進課と協議します。 ・第2水曜日9:30～開催 利用状況の明確化と必要性について検討します

8. 福祉教育事業 (会費:59千円)

事業概要	子どもたちの健全な育成を進めるとともに、地域住民の学びを通じて地域福祉の推進を図る等、地域に暮らす全世代を対象とした取り組みです。地域とのつながりを深めた地域福祉教育を実践し、次世代の地域福祉を担う人材の育成に努めます。
重点目標	①学校と地域がつながる福祉教育を実施します。 ②地域の福祉ニーズに即した福祉教育を展開します。 ③世代を限定しない福祉教育を推進します。
主な計画	①福祉教育推進連絡会は、地域福祉活動者の講話を通じ、地域との繋がり的重要性に気づき授業での学びが家庭や地域生活につながるよう、目的を整理し実施します。 ・5月 福祉教育推進連絡会開催 ②福祉教育依頼シートの見直しを行い、目標を明確化した上でプログラムを作成します。 ・福祉教育プログラム作成支援 ③地域のニーズに即した福祉教育を展開します。 ・地域の困りごとの解決に向け必要な研修会を検討します。

9. ボランティア活動事業 (市補助金:4,326千円、会費:250千円)

事業概要	ボランティア活動に関する相談対応や人材の確保・育成、コーディネート強化をはかります。また、災害時のボランティア本部運営について関係機関と連携し、必要な対策を行います。
重点目標	①個人・ボランティア団体への活動支援 ②ボランティア講座の開催

	③災害ボランティア本部の定期的な点検と充実
主な計画	<p>① SNSを活用しボランティア募集等の情報が行き渡るよう周知方法を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に新しいボランティア情報が得られる方法を検討します。 ・個人ボランティアに対し現況確認し、活動のフォローアップに努めます。 <p>②地域のニーズに沿った講座を企画し実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月～8月 ニーズ調査・企画 ・11月 はじめてのボランティア講座開催 <p>③災害ボランティア本部が機能するよう定期的に点検します。また隣接する市町と連携を図り、富士宮市の安心に備えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア本部立ち上げ訓練を行います。協定締結の企業や団体に協力を求めます。

10. 子育て支援センター事業(子育て支援センターたち) (市受託:10,306千円)

事業概要	<p>おおむね0～2歳のお子さんとその保護者を対象とした、子育て中の親子が気軽に集い相互交流ができる場所です。子育ての不安や悩みに寄り添い個々に合わせた支援を行います。また、子育てに役立つ講座の開催、地域の子育て情報の発信を推進していきます。</p>
重点目標	<p>①父親が積極的に育児に参加できるきっかけづくりを行います。</p> <p>②妊婦さん向けのチラシを作成し、出産後の安心付与に努めます。</p> <p>③地域との交流に努めます。</p>
主な計画	<p>①父親が参加しやすい土曜日の講座を増設します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月、11月 パパ向け講座開催 <p>②幅広い世代に向け情報発信(チラシ配布・SNS活用)し、安心安全な遊び場であることを伝え、担い手確保にもつながるように努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月～5月 妊婦さん向けチラシ作成 ・6月～3月 健康増進課主催行事等にて配布・SNSで情報発信 <p>③各団体と継続的な交流会の設定に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月、12月 あったか家族と交流 ・10月、12月、3月 FSC富士宮と交流

11. 参加支援事業(重層的支援体制整備事業) (市受託:6,619千円)

事業概要	<p>既存の社会参加に向けた事業では対応できない、狭間・個別のニーズに対応するため、地域の社会資源を活用し社会とのつながり作りに向けた支援を行います。また、本人やその世帯の課題やニーズに対して、支援メニュー(地域の社会資源)をコーディネートし、マッチングするほか、日ごろから、支援メニューとしての社会資源の開拓も行います。</p>
重点目標	<p>①社会とのつながりを作るための支援</p> <p>②既存の資源を把握する</p> <p>③社会資源とのマッチングと本人の定着支援</p>
主な計画	<p>①地域の社会資源などを活用し、社会とのつながり作りに向けた支援を行います。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・つながりをもった企業へ訪問し、つながり続けるための方策を検討します。 ・本人の生活に役立つマップを作成し、ひきこもり防止に努めます。 <p>②地域に出向き、本事業の周知及び理解を求め、企業等には切り出し仕事の協力を得られるよう働きかけます。また、各関係機関や企業に対し聞き取り調査を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 調査票（訪問記録）を作成します。 ・5月～9月 訪問調査を実施します。 <p>③本人の状態や希望に沿った支援が実施されているか確認します。また受け入れ先の悩みや課題に寄り添いサポートに努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ先のフォローアップを丁寧に行います。
--	---

1 2. 地域づくり事業(重層的支援体制整備事業) (市受託:4,103千円)

事業概要	地域で取り組まれている事業や活動等を把握し、地域住民の活動の支援や、対話の中から新たな気づきや展開が生まれるプラットフォームづくりを支えます。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①属性や世代を超えて交流できる場や居場所の整備 ②多様なニーズや地域生活課題の把握 ③他分野がつながるプラットフォームの展開
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の社会資源（子どもから高齢者分野の団体）に対し、活動状況の把握や不足する資源の発掘を行います。また、企業が参画する場へ出向き、事業理解と協力が得られるよう新たなつながり作りに努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業に出向き関係づくり及び協力を要請します。 ・対象者を想定した居場所づくりを行います。 ②各種団体等の地域生活課題把握に努めます。 ③既に地域に「ある」ものを活かし地域の人と資源を確認します。また、様々な分野の活動が出会うための方策を検討します。

1 3. 応急小口資金貸付事業 (償還金:200千円)

事業概要	緊急的に福祉的援護を必要とする世帯からの相談により、上限5万円の資金を貸し付けることで、自立に向けた支援を行います。また、償還についての指導や支援、必要に応じて他機関や事業へつなぐことで、利用者の自立援助と、事業の健全な推進に努めます。
重点目標	貸付を通じて、自立支援につながるように支援します。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●貸付相談に応じます。また償還についての相談に応じます。 ●他機関・他事業と連携することにより、自立援助に努めます。

1 4. 高額療養費貸付事業 (償還金:10,000千円)

事業概要	富士宮市の国民健康保険加入者で「限度額適用認定証」の発行がされない人（国保税滞納者等）を対象に、自己負担限度額を超過した金額の貸付を行い、利用者の負担軽減を図ります。
重点目標	市保険年金課、医療機関との連絡調整を行い、貸付を適切に行います。
主な計画	市保険年金課や医療機関との連絡調整、事務処理を適切に行います。

15. 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託:10,932千円)

事業概要	低所得世帯等に対し資金貸付と必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進、社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるよう支援します。
重点目標	①新型コロナウイルス感染症特例貸付対象者のフォローアップを行います。 ②教育支援資金の周知を行います。
主な計画	①-1 生活にお困りの方の相談に応じ、自立支援につながるよう支援します。 ①-2 必要に応じ、他機関や生活困窮者自立支援事業と連携し、相談支援を行います。 ①-3 生活困窮者自立支援事業に基づく各事業と連携を図るなど、一体的な取り組みを行います。 ①-4 新型コロナウイルス感染症特例貸付等のフォローアップとして、電話相談、訪問などを行います。必要に応じて償還指導、償還免除や償還猶予の相談や手続きを行います。 ②-1 教育支援資金について、時期により需要があるため事前に周知します。

16. 権利擁護事業 (県社協受託:6,246千円、市受託:6,437千円、市補助:7,703千円)

日常生活自立支援事業

事業概要	認知症や障がい等により判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、必要な福祉サービスに関する相談や援助を実施し、その方の生活を支援します。
重点目標	利用者主体の生活支援
主な計画	●利用者により良い対応ができるよう、職員のスキルアップや他機関との連携強化などを心掛け体制の強化を図ります。 ●生活支援員が安心して活動が行えるようサポートします。 ●生活支援員の担い手を募集し、増員することで、事業の円滑な運営を目指します。 ●プリペイドカード決済を導入し、利用者が安心して活用できるようサポートします。

法人後見事業

事業概要	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、富士宮市社会福祉協議会が成年後見人、保佐人、補助人となり、成年被後見人等の財産管理、身上保護を行い、その権利を擁護します。
重点目標	本人の意思を尊重した権利擁護の推進
主な計画	●法人後見業務 ・成年被後見人等を定期的に訪問し、本人の意思を尊重した適切な財産管理、身上保護を行い、権利を擁護します。 ●法人後見事業運営委員会の開催 ・弁護士、司法書士、社会福祉士、中核機関である行政職員とともに、法人後見受任の適否についての審議や支援困難ケースの検討協議を行い、適切な法人後見運営を行います。

成年後見推進事業

事業概要	成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、法基本計画で示される中核機関の機能のうち、成年後見制度利用促進機能及び後見人支援機能にあたる、権利擁護人材として期待されている市民後見人の育成及び活動支援と権利擁護人材の役割やその必要性について普及啓発を行います。
重点目標	成年後見制度の普及啓発
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●成年後見制度普及啓発講演会の実施(年1回) ●専門職勉強会の開催 ●市民後見人への移行 ●市民後見人候補者登録 ●市民後見人フォローアップ研修の実施(年4回) ●市民後見人の指導、監督

17. 結婚相談事業 (会費:100千円)

事業概要	社会環境や価値観が変化する中で、適切な結婚相談所の運営に努め、結婚を望む方々に良縁が得られるようサポートします。
重点目標	社会情勢や相談件数を踏まえ、開催日の変更などを検討します。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●結婚相談所を定期的に開きます。 <ul style="list-style-type: none"> ・相談日時：第1・2水曜日、第3土曜日、第2・4日曜日 10:00～15:00 ●社会情勢や相談件数を踏まえ、開催日の変更などを検討します。 ●相談員の情報共有として、定期的(奇数月)に、ミーティングを行います。

18. 遺児並びに交通遺児援護事業 (寄付:250千円)

事業概要	交通事故によって親を亡くした児童と、病気等によって両親を亡くした児童に対し、指定寄付を元に学資手当及び入学祝い金を支給し、児童の健全育成を図ります。また、市民の皆様知っていただけるように周知活動を行います。
重点目標	活動内容の周知及び、事業内容の見直しを行います。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が活用しやすい事業となるように、事業内容の見直しを行います。 ・チラシ作成及び、生活福祉資金等との連携により、遺児・交通遺児援護事業の周知を行います。

19. 生活困窮者自立支援事業 (市受託:19,928千円、市補助:883千円)

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の悩みや経済的な困りごとについて、相談者と一緒に考え課題を整理し、支援を行います。また、必要に応じ自立に向けた計画を作成し、モニタリングなどを通じて支援状況の確認を行います。 ・就労支援やアウトリーチ支援、各支援機関との連携や社会資源の活用を図ります。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生活維持が難しい相談者が自立相談支援事業に繋がるよう、アウトリーチを含めて事業の周知を行います。 ・相談者に合った計画を作成し、自立に向けた支援を行います。 ・適切なアセスメントと、必要に応じ、関係機関との連携を行います。 ・地域で自立した生活を送れるよう、社会資源の活用を図ります。

<p>主な計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自立相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談者に合った計画を作成し、自立に向けた支援を行います。 ・「ひきこもり対策」、「孤独・孤立対策」、「ヤングケアラー支援」、「自殺予防対策」に関する情報収集を行い支援に役立てていきます。 ●事業周知 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、関係機関を対象とした講演会を開催します。 ・支援対象者の早期発見に取組み、支援が必要な方に情報が届くようアウトリーチ等を実践し、事業周知に努めます。 ●社会資源とのつながり <ul style="list-style-type: none"> ・フードサポートを通じた支援を行う上で、企業・社会福祉法人・地域住民との関係性を深め、支え合う活動につなげます。 ・本人が役割を持てる居場所、相談できる場所等の社会資源を活用します。 ●ふじのみや生活応援基金の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・相談者が地域で自立した生活を営めるよう、就労活動等に必要な資金を給付し就労支援の実行性を高め、社会参加の機会の創出に向けます。 ・基金への協力を得られるよう、地域住民、企業等へ事業周知を行います。 ●アウトリーチ支援(重層的支援体制整備事業) <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりなどで社会的孤立に苦しむ人への訪問を通じて相談を行います。信頼関係を築き、適切な情報提供やサポートを行い、社会参加や就労に向けたサポートを行います。
-------------	--

20. 共同募金配分金事業 (共同募金配分金:9,692千円)

<p>事業概要</p>	<p>共同募金運動で集められた募金を基に、低所得世帯や児童福祉等の地域福祉向上のために援護事業を行います。また、配分委員会や運営委員会を通して、その事業が適正な配分や、共同募金運動の促進に向け協議を行います。</p>
<p>重点目標</p>	<p>委員会規程、募集要項及び共同募金運動の在り方についての見直しを行います。</p>
<p>主な計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●共同募金運動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・10月1日より全国一斉に展開される赤い羽根共同募金運動の呼びかけを実施します。 ・募金方法についての見直を検討します。 ●助成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯支援及び児童福祉向上のために、援護活動を実施します。 ・地域福祉活動の推進を図るため、助成事業の公募を行い、地域福祉団体及び社協への助成を行います。 ・規程の整備を行います。 ●配分委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の代表で組織する配分委員会により、共同募金及び歳末たすけあい募金の適正な配分を行います。 ●運営委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の代表で組織する運営委員会により、共同募金の募集について検討し実施します。

2 1. 居宅介護支援事業 (介護保険:4,808 千円)

事業概要	要介護又は要支援状態にある高齢者が、その有する能力に応じ、可能な限り自宅において自立した日常生活を営むことができるよう支援を行います。
重点目標	地域包括ケアシステム構築に向け地域住民、関係機関との連携に努めます。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な居宅介護計画書を作成に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度主任介護支援専門員更新研修参加 ・グループスーパービジョン3回/年 ・居宅部会研修4回/年 ●保険者から介護認定調査、個別避難計画作成などの委託を受けた際、公平な調査を行うと共に知識を深める為、常に研鑽に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・要介護、要支援認定調査 6件/年 ・個別避難計画作成 4件/年 ●行政、包括支援センター開催の会議、研修に参加し地域社会との連携強化を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議 2回/年。

2 2. 訪問介護事業 (介護保険:11,350 千円)

事業概要	介護保険サービスにおける訪問介護の実施
重点目標	訪問介護員の離職を防ぎます。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●社協の強みを生かした支援を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護世帯等、社協で関わりのある方を受け入れ支援します。 ・問題・課題のある事例に対し他機関他職種連携会議に参加し、問題解決のための情報共有を行います。 ●訪問介護員の定着のため働きやすい環境を作ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員増員のため、SNS取り入れ、ヘルパー募集を行います。 ・訪問介護員とのコミュニケーション・連携をタイムリーに行います。

2 3. 地域活動支援センターバンブー (市受託:7,500 千円)

事業概要	住み慣れた地域で安定した活力のある生活ができるように地域との交流を計画し、社会との関わりを促進します。また、創作的活動や生産活動の機会を提供し、充実感や達成感が得られように、利用者の特性に応じた活動を推進します。また、関係機関と協力して、地域生活支援を行います。
重点目標	生産活動から創作的活動や地域との交流などに支援の力点が移動できるよう検討します。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●創作的活動・生産活動の機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・創作的活動の機会を提供するため公民館サークル活動団体等との連携を図ります。また、希望者に安定した生産活動を提供出来るように下請け先の信頼確保に努めます。 ●社会との交流に関する活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体との交流を促進します。また、芝川地域の恵まれた自然を活用した野外活動を検討し、感性を養うと共に体力維持に繋がります。

24. 地域活動支援センターふらっと (市受託:12,000千円)

事業概要	障がいのある方の日中活動の場及び居場所を提供し、日常的な相談に応じるとともに、ボランティアの育成や、地域への公開講座を通じた活動展開などにより、利用しやすい環境づくりと社会参加の機会を創出し、地域との連携に努めます。
重点目標	地域資源のひとつとして、市と共同し事業周知により利用促進に繋がります。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●医療・福祉及び地域の社会基盤との連携のために、市や関係機関と調整し居場所の周知を行い、ホームページ等の活用により利用促進に繋がります。 ●地域住民ボランティア育成のために、ボランティア団体との交流を図ります。障害に対する理解促進を図るための普及啓発として、公開講座を年4回開催し地域住民への普及啓発を図ります

25. 指定相談事業 (市受託金:20,350千円、障害福祉サービス:15,620千円)

事業概要	<p>(委託)障がい児者等からの相談に応じ、関係機関等と連携しながら、相談者と一緒に困りごとの解決を目指します。</p> <p>(特定)障がい福祉サービスの利用にあたって、サービス利用計画の作成・モニタリング等を実施し、適切なサービス利用を進めながら、利用者の生活課題に対応していきます。</p>
重点目標	<p>(委託)市内の特定相談支援事業所と情報共有をし、地域課題を抽出します。</p> <p>(特定)当事者や家族と会う機会を増やし、細やかな相談支援をおこないます。</p>
主な計画	<p>(委託)・相談支援部会や自事業所内での他機関・多職種参加の事例検討、情報共有を行い、他機関の視点を取り入れた地域課題を見出します。</p> <p>(特定)・モニタリング回数を増やします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能強化型相談支援事業の事例検討や会議などに参加し、客観的な視点に気づいた、必要な情報の取捨選択や分析力を身に付けます。 ・基幹相談や委託相談にスーパービジョンを受けていきます。

26. 基幹相談支援センター (市受託金:7,150千円)

事業概要	相談調整コーディネーターとして、地域の相談員のスキルアップや関係機関とのネットワークづくり等、障がい分野における相談機能強化を行います。また地域自立支援協議会の活性化のため、地域課題の抽出と課題解決を目的に、各関係機関と協働しながら資源開発や地域づくりを目指します。
重点目標	地域の障がい児者の相談支援拠点として、①総合的専門的相談の実施 ②相談支援体制の強化の取り組み ③地域移行・定着の推進への取り組み ④虐待防止への取り組みについて実施します。
主な計画	<p>①委託相談支援事業所の打ち合わせに同席し個別ケースの見立てを共有します。困難ケースにおける支援会議や重層的支援会議の出席により、支援内容を組み立てを多機関と協働し、障がい相談員のフォローアップを行います。</p> <p>②相談支援部会や委託相談連絡会の実施、介護保険分野や学校関係者との連携、事例検討会の機会や勉強会を開催します。自立支援協議会の部会運営について、委託相談と協働していきます。</p> <p>③年2回の精神科病院相談員とのネットワーク会議の開催、精神科病院へのヒア</p>

	<p>リング訪問等により地域移行定着に関する情報交換の場や協力体制の機会を構築していきます。また、圏域の地域移行定着支援部会への出席により、幅広い啓発活動や研修企画を検討していきます。</p> <p>④虐待防止のため、権利擁護に関する研修の機会を事業所や相談員へ提供します。また支援困難ケース等に対し、ケース検討会議を実施し、関係機関と対応策について検討します。</p>
--	---

27. 障害者居宅介護事業 (障害福祉サービス:7,260千円、市受託:600千円)

28. 障害者同行援護事業 (障害福祉サービス 6,660千円)

事業概要	障害福祉サービスにおける訪問介護の実施
重点目標	訪問介護員の離職を防ぎます。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●社協の強みを生かした支援を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護世帯等、社協で関わりのある方を受け入れ支援します。 ・富士宮市で不足している同行援護・総合事業を受け入れ支援します。 ・問題・課題のある事例に対し他機関他職種連携会議に参加し、問題解決のための情報共有を行います。 ●訪問介護員の定着のため働きやすい環境を作ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員増員のため、SNSも取り入れ、ヘルパー募集を行います。 ・訪問介護員とのコミュニケーション・連携をタイムリーに行います。

29. 総合福社会館管理・経営事業 (市受託:106,000千円)

事業概要	指定管理者として、富士宮市社会福祉協議会の強みを活かし、地域の皆様の健康維持や福祉活動の拠点となるよう、市や関係団体と連携を図り、より良いサービスの提供に努めます。
重点目標	福祉サービスの総合的な提供と、適切な管理に努めます。
主な計画	<ul style="list-style-type: none"> ●総合福社会館運営 <ul style="list-style-type: none"> ・総合福社会館の各施設を地域に暮らす皆様の健康増進や教養の向上、レクリエーションの場として提供し、福祉の増進に努めます。 ・高齢者団体、福祉団体、ボランティア団体、社会福祉団体等に対し、施設の貸し出しを行います。 ●総合福社会館管理 <ul style="list-style-type: none"> ・利用する方が安心して快適に利用できるよう、見回り等の積極的实施、専門業者による設備・機器の保守点検、整備を行います。また、大規模修繕については、富士宮市と調整し、順次対応します。 ・総合福社会館長寿命化への対応について、市の関係機関と情報を密にし、利用者に配慮した運営に努めます。 ●自主事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が生きがいや楽しみを見つけ、仲間をつくることを目的に、全市民対象の各種講座等を開催します。 ・講座の開催等により、福社会館の利用促進に繋がります。 ●経費の削減

	<ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉会館の管理運営の委託業務では、見積合わせ等により、経費削減に努めます。 ・節電や裏紙を利用する等、資源の有効活用に取り組みます。 ●会館のPR <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSを活用し、福祉会館のPRを行い利用促進を図ります。 ・福祉教育等で福祉会館の見学を積極的に受け入れ、福祉会館を身近な施設として感じてもらえるよう努めます。
--	---

30. 他団体事務等

富士宮市民生委員児童委員協議会（事務局）

事業概要	民生委員児童委員及び主任児童委員が連携・協力し、機能的かつ効果的に地域福祉の推進が図れるよう支援します。
重点目標	民生委員児童委員及び主任児童委員の横の繋がり強化

日本赤十字社富士宮市地区（事務局）

事業概要	災害被災者の救援をはじめ、戦争・紛争犠牲者の救援、医療・保険・社会福祉事業など、人道的支援活動を展開します。
重点目標	日赤事業への理解と協力の呼びかけ

ふじさんシニアクラブ富士宮（事務局）

事業概要	高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりを進めるとともに、地域貢献活動や世代間交流にも取り組み、高齢者が地域で活躍できる、地域に必要とさせる団体となるよう努めます。また、会員の減少や次期役員候補の不足等の課題を解消するために、ふじさんシニアクラブ富士宮の活動をPRし、継続した活動ができるようにしていきます。
重点目標	会員の増加・役員不足の解消を図り、継続した活動へつなげます。